

2025年5月 東京地区百貨店売上高概況

2025年6月24日

I. 概況

1. 売上高総額	1, 285億円余
2. 前年同月比（増減率）	－9.1％（4か月連続マイナス）
3. 店頭・非店頭の増減	店頭－9.6％（92.3％）：非店頭－2.9％（7.7％） （ ）内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	12社 22店（本年4月対比±0店）（前年同月比：±0店）
5. 総店舗面積	668,118㎡（前年同月比：－10.0％）
6. 総従業員数	12,491人（前年同月比：－6.5％）
7. 3か月移動平均値	10-12月 1.1％、11-1月 3.1％、12-2月 1.7％、 1-3月 －0.4％、2-4月 －4.3％、3-5月 －6.5％

【参考】2024年5月の売上高増減率は17.3％

【特徴】

5月の東京地区は、売上高（9.1％減）、入店客数（9.5％減）共に前年を下回った。前年の免税売上の高伸反動の他、一部店舗の改装工事や週末に雨が続く等の天候要因等が影響した。インバウンドも売上、購買客数共にマイナスとなった。具体的なアイテムの動向は以下の通り。

衣料品(7.0％減)：月を通して気温の高低差が大きかったため、夏物衣料の動きは鈍かったものの、ジャケット、ブルゾン、カーディガン等の羽織物が稼働した他、紫外線対策アイテムや、リカバリーウェア等、機能性を重視した商品が好調。

身のまわり品(21.5％減)：ラグジュアリーブランドのバッグ、財布、靴等は前年の免税高伸の反動で大幅減。日傘やサングラス、サンダル等の夏物商材は天候影響で苦戦したが、スニーカー等カジュアルシューズは伸長。

雑貨(6.9％減)：化粧品は0.8％減と前年に僅かに届かず45か月ぶりにマイナスに転じたが個別アイテムは、クレンジング、化粧水、美容液、クリーム等スキンケア商品が幅広く稼働。美術・宝飾・貴金属（8.1％減）も苦戦が続くが、一部ブランドでは価格改定前の駆け込み需要が見られた。

食料品(1.7％減)：全ての細品目でマイナスとなったが、GWの手土産や母の日需要でケーキや弁当、惣菜等が好調に推移した他、各社企画の物産展等の食品催事も好調。中元は5月よりEC受注がスタートしているが、米は需要増から展開後数日で完売する等、好調。

6月足元動向：前年高伸した免税売上の反動影響から前年比12.4％減(6/18時点)で推移。

【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日（前年同月比 ±0.0日）
- (2) 入店客数増減（回答店舗数で見る傾向値／前年同月比／有効回答数16店舗）
 - ①増加した：7店、②変化なし：5店、③減少した：4店
- (3) 5月歳時記（GW、母の日）の売上（同上／有効回答数11店舗）
 - ①増加した：2店、②変化なし：8店、③減少した：1店

東京地区百貨店 売上高速報 2025年5月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	128,549,264	100.0	-9.1
紳士服・洋品	9,812,357	7.6	-5.4
婦人服・洋品	21,055,561	16.4	-7.8
子供服・洋品	2,134,146	1.7	-7.8
その他衣料品	1,418,750	1.1	-5.5
衣 料 品	34,420,814	26.8	-7.0
身のまわり品	23,418,938	18.2	-21.5
化粧品	12,444,019	9.7	-0.8
美術・宝飾・貴金属	17,841,163	13.9	-8.1
その他雑貨	3,775,185	2.9	-18.5
雑 貨	34,060,367	26.5	-6.9
家 具	1,216,818	0.9	-2.1
家 電	1,405,722	1.1	16.6
その他家庭用品	2,900,552	2.3	-4.5
家 庭 用 品	5,523,092	4.3	0.7
生 鮮 食 品	3,090,564	2.4	-4.4
菓 子	7,904,751	6.1	-2.5
惣 菜	6,158,575	4.8	-0.7
その他食料品	8,214,663	6.4	-0.6
食 料 品	25,368,553	19.7	-1.7
食 堂 喫 茶	2,166,428	1.7	-12.8
サ ー ビ ス	2,448,357	1.9	30.1
そ の 他	1,142,715	0.9	-51.7

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率(%)
商 品 券	1,209,210 千円	-13.2
従 業 員 数	12,491 人	-6.5
店 舗 面 積	668,118 m ²	-10.0
営 業 日 数	31.0 日	前年 31.0 日

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は家庭用品を除く4品目でマイナスとなった。
その他の品目は、家電が6か月連続でプラスとなったが、化粧品が45か月ぶり、生鮮食品が14か月連続、菓子、惣菜が11か月連続でマイナスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
総額	-9.1	—	4か月連続マイナス
紳士服・洋品	-5.4	-0.4	4か月連続マイナス
婦人服・洋品	-7.8	-1.3	4か月連続マイナス
子供服・洋品	-7.8	-0.1	4か月連続マイナス
その他衣料品	-5.5	-0.1	6か月連続マイナス
衣料品	-7.0	-1.8	4か月連続マイナス
身のまわり品	-21.5	-4.5	4か月連続マイナス
化粧品	-0.8	-0.1	45か月ぶりマイナス*
美術・宝飾・貴金属	-8.1	-1.1	4か月連続マイナス*
その他雑貨	-18.5	-0.6	9か月連続マイナス*
雑貨	-6.9	-1.8	3か月連続マイナス
家具	-2.1	-0.0	2か月連続マイナス
家電	16.6	0.1	6か月連続プラス
その他家庭用品	-4.5	-0.1	2か月連続マイナス
家庭用品	0.7	0.0	2か月ぶりプラス
生鮮食品	-4.4	-0.1	14か月連続マイナス*
菓子	-2.5	-0.1	11か月連続マイナス*
惣菜	-0.7	-0.0	11か月連続マイナス*
その他食料品	-0.6	-0.0	2か月ぶりマイナス*
食料品	-1.7	-0.3	11か月連続マイナス
食堂喫茶	-12.8	-0.2	11か月連続マイナス
サービス	30.1	0.4	2か月ぶりプラス
その他	-51.7	-0.9	6か月ぶりマイナス
商品券	-13.2	-0.1	15か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した

お問い合わせは、日本百貨店協会 橘・青柳 まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>